

	一般的名称	報告の概要
549	エストラジオール	エストロゲン・プロゲステリン併用ホルモン療法により、浸潤性小葉癌発症リスクが高まることが示唆された。
550	レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール	経口避妊薬の使用により、浸潤性子宮頸癌のリスクは使用期間とともに増加することが示唆された。
551	メルカプトプリン	炎症性大腸炎患者1217例を対象としたレトロスペクティブコホート研究において、大腸癌10例、非ホジキンリンパ腫6例、基底細胞癌6例、乳癌6例が認められ、アザチオプリンまたはメルカプトプリンの投与期間が影響することが示唆された。
552	レボホリナートカルシウム	転移性胃癌患者169例を対象としたFOLFIRI+ドセタキセル/シスプラチン療法とマイトマイシンC単剤療法を比較するPhaseⅢ試験において、前群で消化管出血と自殺により2例が死亡した。
553	レボホリナートカルシウム	転移性結腸直腸癌患者474例を対象としたカペシタビン/オキサリプラチン併用療法とフルオロウラシル/ロイコボリン/オキサリプラチン併用療法を比較したランダム化PhaseⅢ試験において前群で敗血症、肺静脈血栓症、動脈血管塞栓症、十二指腸出血、象徴閉塞により、後群では悪性不整脈、急性腎不全、敗血症、激しい下痢を伴う脱水により死亡例がみられた。
554	ホリナートカルシウム	フルオロウラシルまたはカペシタビンをベースとした化学療法を受けたがん患者644例を対象としたプロスペクティブ研究において、伝導異常がみられた1例が死亡した。
555	レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール	経口避妊薬の使用により、浸潤性子宮頸癌のリスクは使用期間とともに増加することが示唆された。
556	ヘパリンナトリウム	心臓手術後に術後血小板減少症を生じた患者487例を対象としたレトロスペクティブケースコントロール研究において、HIT抗体陽性患者で急性四肢虚血、腎不全の発生率、30日間死亡率が高かった。
557	塩酸ゲムシタビン	75歳以上の未治療の非小細胞肺癌患者39例を対象として、ゲムシタビン/ビノレルビン併用療法とゲムシタビン/ドセタキセル併用療法を比較したプロスペクティブ無作為化phaseⅡ試験において、血液毒性、肺毒性、下痢、浮腫がみられた。
558	レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール	経口避妊薬の使用により、浸潤性子宮頸癌のリスクは使用期間とともに増加することが示唆された。
559	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	経口避妊薬の使用により、浸潤性子宮頸癌のリスクは使用期間とともに増加することが示唆された。
560	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	2年以上前からインスリン注射を行っている糖尿病患者において、インスリンの注射期間と注射手順により、リボハイバトロフィーの発現率が高まることが示唆された。
561	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	経口避妊薬の使用により、浸潤性子宮頸癌のリスクは使用期間とともに増加することが示唆された。
562	ファモチジン	ヒスタミンH2受容体拮抗薬を連続使用しているアフリカ系アメリカ人の高齢者において、認知機能障害の発症リスクが高まることが示唆された。
563	プレドニゾロン	肝移植後にタクロリムスを単独投与されている患者と比べ、タクロリムスとプレドニゾロンを併用している患者では、ヒトサイトメガロウイルス感染率が高まることが示唆された。